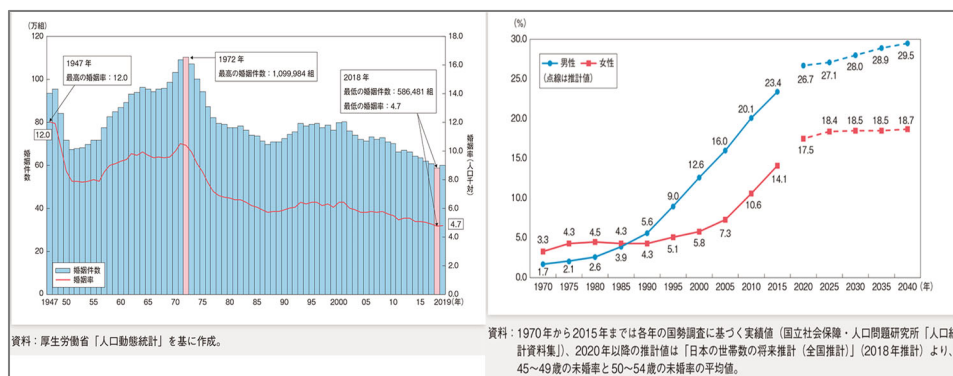


#### (4) 婚姻件数、婚姻率、50歳時未婚率の状況

一方、「どのくらいの人が結婚しているか」については、婚姻件数は1970年頃には年間100万件を超えていたものの、その後は減少傾向にあり、近年は年間60万件を切っている。

50歳まで一度も結婚したことのない未婚の人の割合である「50歳時未婚率」は年々上昇しており、2020年の国勢調査では、男性は4人に一人、女性は6人に一人に上っている。

(県や市町村のデータがあれば、この後に、ちなみに本県の場合は…本市の場合は…と紹介する。)



内閣府子ども・子育て本部『令和3年版少子化社会対策白書』「第1-1-8 図 婚姻件数及び婚姻率の年次推移」「第1-1-10 図 50歳時の未婚割合の推移と将来推計」

## 研修時のポイント等

### 【重点説明ポイント】

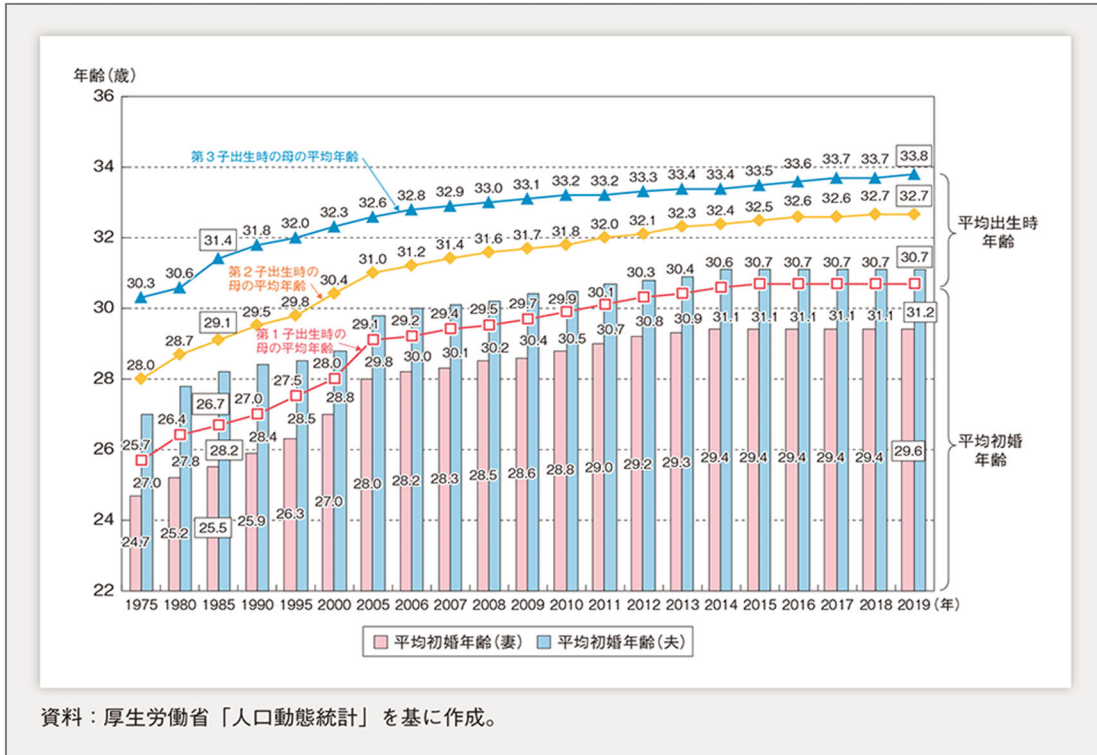
- ・「どのくらい結婚しているか」については、グラフの通り、婚姻件数が、どんどん減っている。
- ・これは、少子化でそもそも若い人が減っているから、というだけでなく、実は「50歳時未婚率」つまり50歳になっても一度も結婚してない方が、年々増えている。
- ・なんと、2020年のデータでは、50歳以上の男性はおよそ4人に一人、50歳以上の女性は6人に一人の割合で、一度も結婚していない、未婚者となっている。
- ・かつては、結婚しないでいる男女はほとんどいなかったが、現在は、ここまで増えているのが実情。結婚に進まないことが、少子化が進む大きな要因だと言える。
- ・（地域のデータを記載した場合）日本全体と比べ、また近隣や同規模の都道府県と比較しても、わが県の婚姻件数(婚姻率)は、〜〜〜となっており、やはり未婚化が進んでいることがわかる。

### 【講義展開例】

- ・受講者に、身近なところで未婚化の状況を肌感覚で感じていないかと、聞いてみる。

## (5) 晩婚化の進行？実は…

- ① 近年は、昔と比べて、結婚する時期が遅くなっている（晩婚化）と言われており、「急いで結婚しなくてもいいかな」という思いを若い世代やその親世代に抱かせている一面もあると思われる。



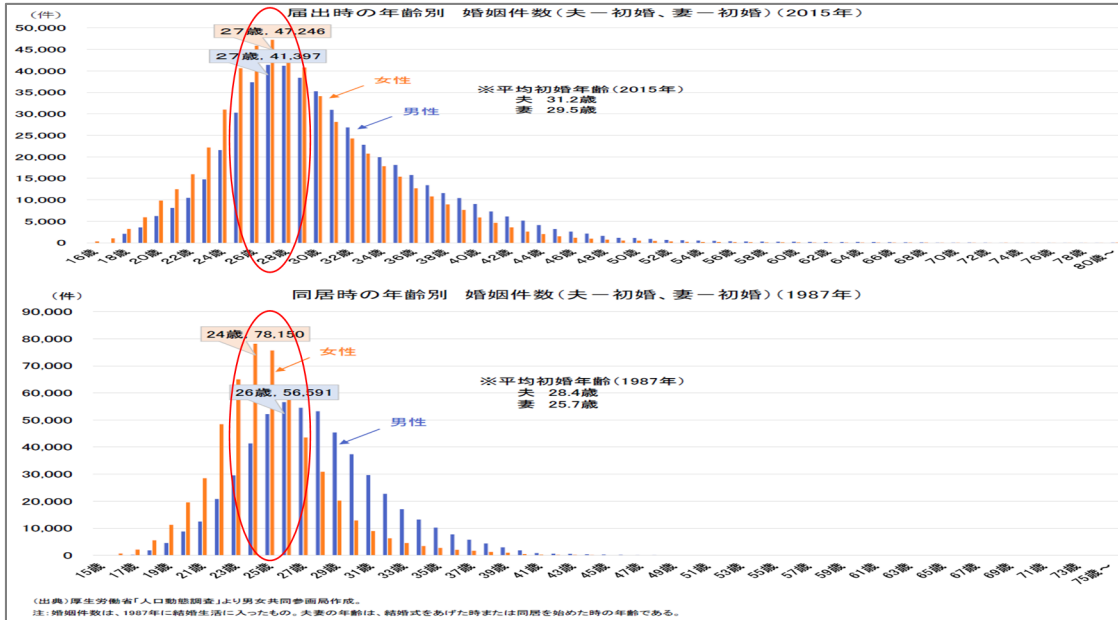
内閣府子ども・子育て本部『令和3年版少子化社会対策白書』「第1-1-11 図平均初婚年齢と出生順位別母の平均年齢の年次推移」

## 研修時のポイント等

### 【重点説明ポイント】

- ・近年、若い人たちが、昔と比べて、なかなか結婚しない。結婚時期が遅くなる。晩婚化が進んでいると「言われて」いる。実際、このように統計を見ると、たしかに、初めて結婚する年齢(平均初婚年齢)は、年々上昇している「ように見え」る。
- ・理由は色々と考えられる。例えば4年制大学に進学する若者は男女とも昔より増えており、大学を出て3年は仕事に専念すると、その時点で既に26歳、27歳。そこから結婚のことを考え始めたら、あっという間に30歳を迎えることも考えられる。
- ・社会全体として、例えば25歳ころには結婚しないといけないといった昔のような雰囲気はなくなったことも、若者が「まだ必要性を感じない」などの理由で、結婚に向けての特段のアクションを起こさないままでいやすく、結果的に結婚時期が遅れる一因になっている。

- ② 実は統計上、今も、男性も女性も最も初婚で結婚する人数が多いのは20歳代後半である。高齢で結婚する一部のケースが、平均初婚年齢の上昇の要因となっている。



内閣府男女共同参画局『結婚と家族をめぐる基礎データ』「届出時の年齢別婚姻件数」(令和3年12月14日)

### 研修時のポイント等

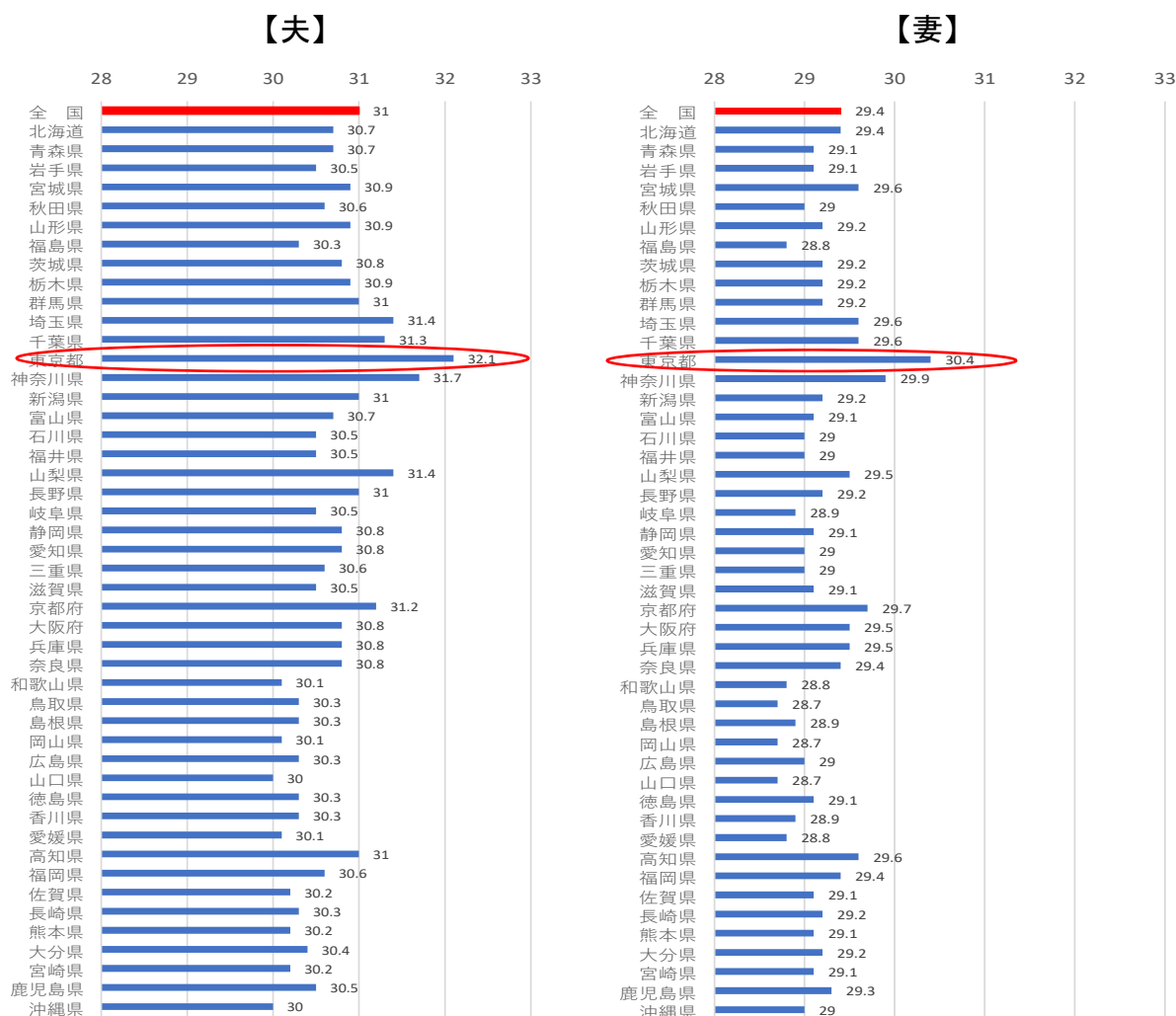
#### 【重点説明ポイント】

- ・こちらのグラフをみると、実は、「平均初婚年齢」は、確かに30歳以上だが、男性も女性も、もっとも多くの人たちが結婚するのは「26歳～27歳」頃。
- ・高齢で結婚する方も増えてきたことから、「平均初婚年齢」は上がっているが、結婚する人が多い「最頻値」は、実は、もっと早い段階となっている。

#### 【講義展開例】

- ・夫と妻の初婚率のグラフについて、受講者に感想を聞く。
- ・利用者の中には、30歳代後半になってから来所するケースもあるが、こうした現実を示しつつ、婚活に前向きに取り組んでもらうためには、どのようなアドバイスが考えられるか話し合う。

- ③ 都道府県別に見ても、夫の平均初婚年齢全国平均（2020年時点）は31歳となっているが、実際に初婚年齢が31歳を超えている主な地域は東京都やその近隣地域となっており、こういった一部の地域が、全国平均初婚年齢を上昇させている（妻の場合も同様）。



厚生労働省『人口動態統計』「都道府県別にみた年次別夫妻の平均初婚年齢」（2020年）より作成

研修時のポイント等

**【重点説明ポイント】**

- 一部のケースが平均初婚年齢を引き上げるという点は、地域別データでも同じことがいえる。例えば、東京は他の地域から女性が多く引っ越してくるため、他の地域と比べて、中高年男性でも結婚できる確率が高くなるため、平均初婚年齢は高くなる。一方で、他の地域では、東京並みに平均初婚年齢は高くなっておらず、晩婚化の進み具合には地域差が見られる。

### ★結婚に関するよくある思い込み・誤解を解くために

ボランティアの皆さんは、様々な相談を受ける中で、利用者やその家族の思いを受け止めつつも、思い込みや誤解を解いてストライクゾーンを広げることにより、利用者が結婚に向けて前向きな一歩を踏み出せるような支援が求められる場面も出てくるかと思います。

ご自身の人生経験を踏まえた助言もあるかと思いますが、本モデルプログラムでは、客観的なデータを正しく引用し示すことで、利用者に新たな気づきを得てもらうような素材を、盛り込んでいます。

代表的なものを抜粋して以下にまとめましたので、ご参照ください。

#### (ケース 1)

##### ■最近では晩婚化といわれているのでまだ焦らないでいいよね。

⇒確かに平均初婚年齢は上昇していますが、初婚のピークは 27 歳です。一部の高齢で結婚するケースが平均を引き上げてしまっているためデータの見方に注意が必要です。

参照：第 1 章 P12 (5) 晩婚化の進行？実は… ②

#### (ケース 2)

##### ■男性の方が女性よりも学歴が上の方が良い。

⇒ここ 30 年で 4 年制大学進学率は大幅に増加しています。大卒は特別なステータスではなくなってきました。

参照：第 2 章 P4 (2) 男女別進学率の推移  
～結婚をめぐる社会情勢の変化～

#### (ケース 3)

##### ■今の収入で結婚できるか不安。

⇒「結婚後に期待する相手の年収」を未婚者と既婚者とで比較すると、未婚者の方が「結婚生活にお金がかかる」と思いがちという調査結果も出ています。

参照：第 2 章 P11 (8) 結婚には経済力が必要という思い込み

#### (ケース 4)

##### ■(男性が)芸能人のように年下の若い奥さんが欲しい。

##### ■男性は結婚を焦らなくても大丈夫。若い女性と結婚すればよい。

⇒芸能界の特殊な事例はありますが、データを見ると歳の差がある結婚はかなり少なく、夫 4 歳上～妻 2 歳上の近い年齢の結婚が 7 割を超えます。

参照：第 2 章 P14 (10) 年の差婚がブーム！？ 実は…